

## 都会の喧騒を忘れ、日々の疲れを癒す宿

棚田の宿 ささゆり庵（ベンチャーケミカル株式会社） 奈良県宇陀市室生

大阪市内から車でわずか1時間、奈良県宇陀市室生・深野地区の標高450mの山肌に佇む「棚田の宿 ささゆり庵」（以下、「ささゆり庵」）はおよそ築150年の古民家を改築した民宿で、平成26年9月にオープン。深野地区は、「日本の里100選」やユネスコの「プロジェクト未来遺産」に登録されており、日本の原風景を今に残す場所。地域では、近年少なくなった原生のささゆりを保存する会を立ち上げ、保存・増殖活動に取り組んでいる。

このことに因んで名付けられた「ささゆり庵」は、無機質なトタン製だった屋根を茅葺きに復元するなど昔の姿を蘇らせた。建物内に一歩足を踏み入れると、左手に囲炉裏のある16畳の松板の大広間が待ち構える。天井は高さ10m以上と高く、都会では味わえない開放感を醸し出している。また、特注した大きな木製の窓を通して見る外の風景は格別。かつて視界を遮っていた電柱を撤去したことで、雄大な風景を妨げるものがなくなり、眼前に広がる美しい棚田の景色を独り占めできる。さらに、遠方には室生赤目青山国定公園の峰々を望むことができる。



「ささゆり庵」の外観（左）と  
松板の大広間（右）

運営するのは、化粧品の材料等を輸出する商社ベンチャーケミカル株式会社（代表取締役 松林哲司氏）だ。「ささゆり庵」の経営は、一見、全く別の分野への進出にもみえるが、実は本業の一環。松林社長は、「業種や扱う商品は異なるものの、

“外国人をメインターゲット”としている点は、本業と何ら変わることはない」と語る。この地を選んだのは、社長が自宅から大阪の会社への出勤途上にみた深野の里山の景色に魅かれたことだった。

同社は「ささゆり庵」の開業に先がけて26年4月に本社をこれまでの大阪から同地に移転。ささゆり庵に隣接する地をビジネスの拠点とした。「インターネットの環境が整っていれば大丈夫。不自由はまったくなく、田舎でもビジネスが成り立つことを証明した」と松林社長は胸を張る。

現在、自社のインターネットや国内外の大手ポータルサイト、フェイスブック等のSNSで情報発信を行っており、これから先、東京での展示会やマッチングフェアへの出展、旅行代理店や奈良県庁との連携も視野に入れている。

着実に一歩を進めた「ささゆり庵」は、都会の喧騒を忘れ、日々の疲れを癒す宿として評判も上々。これまでの来訪者は、首都圏、関西圏からが中心で、海外からはフランス人が多い。その割合は概ね日本人が7割、外国人が3割とのこと。「地域の人が地元人でない自分を快く受け入れてくれたことが、成功の大きな要因」と感謝を口にする松林社長。今後は、外国人を中心とした富裕層にもっと来てもらいたいと考え、そのための新たな構想を今練っているところだという。また将来的には、2号店、3号店をここ深野の地に作りたいと意気

込んでいる。

（丸尾尚史）



浮世絵風に描かれた「ささゆり庵」

### 棚田の宿 ささゆり庵

〒632-0203  
奈良県宇陀市室生深野 656 番地  
TEL: 0745-88-9402  
FAX: 0745-97-2112  
URL: <http://sasayuri-ann.jp>